

海で遊ぶときは お子様へ手の届く場所で! 目を離さないで!

北海道では、過去5年に52名の方が遊泳中の事故に遭っており、その半数以上が20歳未満です。

遊泳中の事故は、一瞬にして命を落とす危険があります。海水浴など、海辺での活動は、子供から目を離さないことはもちろん、子供へ危険が迫った時にすぐに助けられる場所で、安全に十分配慮してください。

遊泳中の事故のほとんどが海水浴場以外で発生しています。事前に情報収集を行い、監視員やライフセーバーがいる開設された「海水浴場」を必ず利用してください。

●開設された海水浴場の利用

海水浴場以外では、水上オートバイ等との接触、監視・救助体制が整っていない等の危険があり、海水浴中の事故の9割以上を占めます。

●気象・海象等の事前の情報収集

風や波は想像以上の力があります。悪天候では予定を変更する勇気も必要です。子供との約束もあるかもしれません、命には代えられません。

●お子様を傍で見守り、無謀な行動はさせない

溺れるときは一瞬、音もなく静かに沈みます。子供のピンチを見逃さず、笑顔で帰宅してください。準備運動、適度な休憩も大切です。

●万が一に備えた連絡体制の確保

万が一に備え、スマホ用の防水パックを使用するなど、連絡体制の確保をしてください。海での緊急通報は118番です。



北海道教育委員会

第一管区海上保安本部

ほごしゃといっしょによみましょう

うみ
海でのおやくそく

- ①おとなといっしょにいきましょう
- ②かいすいよくじょうでおよぎましょう
- ③さむくなったり、つかれたりしたら、やすみましょう

うみであそぶのは、とってもたのしいです。でも、あぶないところもたくさんあります。

いっしゅんで、おぼれたり、いのちをおとしたりすることもあります。

わらっておうちにかえれるように、おやくそくをまもってください。

うみのもしもは
118ばん



Water Safety Guide

海上保安庁ウォーターセーフティガイド



かいすいよくじょう

ねが

中学年向け

海水浴でのお願ひ！

① 子供だけで遊ばないで！

お父さんやお母さんなど、一緒にきた大人の人から
離れず、一緒に遊ぶようにしましょう。



② 開設された海水浴場で遊ぼう！

監視員さんのいる「海水浴場」で遊びましょう。

遊びに行く前に家族とインターネットなどで調べてね。

③ 足の届かないところで遊ぶなど、 無理な行動はやめて！

海は急に深くなっている場所があります。

砂浜から離れすぎていないか確認しながら遊びましょう。

④ 疲れたり、寒くなったりしたら休んでね！

つかれたら、おぼれやすくなります。

準備運動をして、休憩しながらあそんでね。

遊ぶ前にかくにんしよう！

Water Safety Guide

海上保安庁ウォーターセーフティガイド



うみのもしもは
118ばん

海を安全に楽しむために

海の特性を 知ろう！

波や風

一定ではなく変化します。突然の大きな波に飲み込まれ溺れることも。強い風はフロート遊具が転倒したり、遠くまで流されたりします。

離岸流

見た目では分からない沖に向かう強い流れがあり、あっという間に沖まで流されます。海岸と平行に泳ぐことで、抜け出せることがあります。

海底地形

海では海底が見えづらく、急に深くなったり、石や岩等の存在で、溺れたり怪我をしたりする危険があります。マリンシューズ等の着用も効果的です。

危険生物

海にはクラゲやエイ等、毒を持つ生物もいます。「チクッ！」と刺されてパニックになることもあります。見かけたら、近寄らず絶対触らないで。

遊泳事故を 防ごう！



★開設された海水浴場で！

海浜事故のほとんどが海水浴場以外で起きています。
監視員等のいる海水浴場を利用して！

★無理・無謀な行動はやめて！

体調不良で海に入らず、準備運動もしっかり行ってください。

★天気の悪いときは、海に行かない！

事前に天気予報で風や波をチェック！
白波が立っていないか確認してください。

★大人の人と一緒に海へ

海では思わぬ事件・事故が起こります。きまりを守り安全に！

 Water Safety Guide

海上保安庁ウォーターセーフティガイド



うみのもしもは
118番